

あなたらしく ありのままがいいよ！

～共に学ぶ楽しい子育て～

本講座では、5回の講座ごとに、講師の津家庭教育研究会 山下裕子さん・松原利子さんのテーマに沿ったお話の後、意見交流もしました。日頃から悩んでいることを出し合う中で、子育ての考え方や対応についてたくさんのヒントをいただきました。

5回の講座の学びとして、受講者の皆さんの振り返り（感想）を伝言板にまとめました。

アンケートから《学びの伝言板④》

第4回家庭教育講座

令和3年 10月19日（火）実施

困らせる子どもは 困っている子どもです



・「怒りたい気持ちを我慢する親を見て子どもも我慢する」が響きました。今の私ができなくて、子どももできないと感じる事なので。

・子どもの日常生活の決まりを親子で話し合い「ルールづくり」をするというのが、つい親目線ですってしまうので、結果押し付けになってしまうと気付きました。

- ・「乳児期 手をかける」「幼児期目をかける」「思春期心をかける」
- ・家庭は反抗期の子の栄養補給基地である。甘えられる親だから出せる。安らぎの場であるから出せる。反抗は成長の現象である。日々自分も含めて大事に過ごしたいです。
- ・私自身も子どものことを信じて待つ力を育てたいと思いました。
- ・まさに、「育児」は「育自」ですね。「信じて待つ力」「忍耐」など、たくさんのことを学び子どもに育ててもらった気がします。子どもに感謝です。
- ・「子どもは、甘えられる、聞いてくれる、分かってくれる、と思うから反抗する。」という事をお聞きして、イライラして怒ったりせずに、子どもの心の声に耳を澄ませる事の大切さを痛感しました。良かれと思って指示を出してしまふ癖があるので、もっと子どもを信じて、待ちたり任せたりしてみようと思いました。
- ・子育てを通して親自身が成長させてもらっていると感ずることがよくあります。

(高校生期の)

批判的反抗

- ①親の過剰な干渉
- ②親の考えを押し付ける
- ③自分を本当に理解しようとしていない
- ④考え方が古くて頑固
- ⑤子ども扱い
- ⑥勉強のことばかり言う
- ⑦交友関係に口を出す
- ⑧親は言うこととやることが一致していない

